

2005年10月27日 報告会アンケート集計結果
 アンドレイ・バビーツキ記者報告会
 —終わりになきチェチェン戦争、強権化に向かうロシア社会—

(有効回答数 46名)

● どちらでこの集会のことを知りましたか？(複数回答可)

その他 9名

(チェチェン支援通信 4名)
 (子どもを支援する会経由 2名)
 (あれこれ、共同通信社“ロシア東欧
 ファイル”、日本ロシア語情報図書館、
 ビジュアルジャーナリスト 各1名)

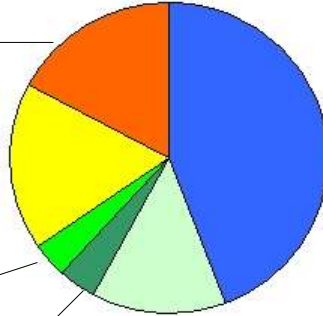
知人 9名

雑誌 2名
 (週刊金曜日 2名)

新聞 2名
 (東京 2名)

それ以外の
 インターネット
 7名

チェチェンニュース/
 チェチェン総合情報
 23名

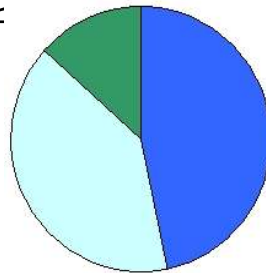


● 今までチェチェン関係の集会に参加されたことはありますか？

もっと
 6名

2回～5回くらい
 18名

初めて
 21名

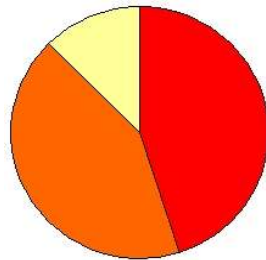


● この集会についてどう思われましたか？

どちらでもない
 5名

ややよい
 17名

かなりよい
 18名



「やや悪い」「かなり悪い」…0名

● 集会についてのご感想をご自由にどうぞ。聞き足りなかったことなどがあれば、お書きください。

途中から（休憩時間から）だったのでバビーツキー氏の話すべて聞きませんでした。質疑でチェチェンの状況がわかりました。また林氏のなぜ日本のメディアがチェチェンを取りあげないか等よくわかりました。

チェチェンとロシアの関係における「現在の」政治的・宗教的背景は、本日参加しなければ知らなかったことが沢山あった。今後メディアでチェチェンについて取り上げられた際、自分なりの判断材料を養うのに良い機会だった。本当にチェチェンの人身に起こっていることはあつてはならないことだと、できる範囲で意志を表していきたい。また、通訳の方の力量か、バビーツキー氏の才能か（おそらく両方でしょう）難解なことも平易な言葉で解説して頂き、有難いと思った。

ロシアの一般住民は、今でも本当にプーチンを支持しているのか？次の大統領選は公正に行われうるのか？その点がかかわらないと、チェチェン戦争は停止できないと思うが……。なお、区民センターへの地図が大変わかりにくく、20分もうろうろと迷ってしまった。

ヨーロッパのチェチェン人の若い世代の可能性についての言及が印象的でした。ヨーロッパ内のチェチェン連帯運動の現状なども知る機会があるといいと思います（知りたい）。チェチェンの問題を現在国会できちんと取り上げている議員はいるのでしょうか？（以前、小沢一郎が語っていたのは見ましたが……）ロビー活動も必要なのでしょうね（されているかもしれませんが……）。

全体とてもよかったです。集会中にステージに向かって右のガラス窓にいろいろはっていたのは、少しうるさかったです。

有意義な講演ありがとうございました。今まで、本を読んでも疑問だったことが、解決でき良かったです。映像は衝撃的でしたが、現実を知るイミで良かったです。またチェチェンに関する講演会があれば参加したいです。

日本政府に妨害されたのですか？！（来日の件）具体的にお願いします。ゼミ論で取り上げようと思って参加しました。バビーツキーさんと誕生日が同じ、20歳年下の大学生です。質問にお答え頂き、ジャーナリストの方から直接お話を伺えたのは大変に有益でした。どうしてこんなことに社会の目が向かないのか、もどかしさを覚えます。今後もこうした機会をふやして下さい。今後も、バビーツキーさん、チェチェン連絡会議の皆様のご活躍をお祈り致します。

大きな集会で、チェチェンを直接肌で感じておられる人の話は迫力があつた。すごい人を呼ぶにあたり尽力された方に感謝したい。質問の時間が長いのは良い。

チェチェンの現状が良くわかりました。通訳が良かったので時間の無駄がなく、この会の成功に大きな力となっていました。

マスコミでは知ることのできない貴重な話でした。チェチェンの一端を理解できました。

困難の中でよくぞ実現できたことに感謝したいくらい。質問で答えきれなかった分はぜひチェチェンニュースで伝えてほしい。いろいろなことをきいて、すぐにそれを信じるものではないと思う。これとぜんぜんちがう情報が大量に優勢に流れている時、どうやって真実を見つけるか？だいたいそれを知りたいと思うようになるにはどうしたらいいのか？そういう視点で催しを行ってほしい。あなたはこれを知らないぞ、と高飛車でなく。きき忘れた質問：冷戦時代の反ソ勢力があらゆるきっかけでロシアを非難したいとかまえているとき、そういう国々の気にいるように西側向けにすり寄る記者もいるのかどうか？誠実な通訳さんに拍手！

一次ソースや二次ソースを伝えられることは、正確な事実を知ることができてよい。ただこの会の告知はもっとほしかった。市民団体主催では限界もあると思うが、このような会は、別の形であってもいいから、もっと催してほしい。

事前にQAをつのっておいて、最初からQAでも良かったかもしれない。特に今後の方向性について、バビツキー氏の考え方が今ひとつ良く分からなかった。

一人一人個人が何をできるか（例 現地にてのボランティア・教育等）をくわしく教えてほしい。

「かなりよい」とできなかったのは、自分自身が遅れて参加して、半分以上聞きのがしてしまったせいです。いろいろな障害があったということですが、それらを克服して訪日を実現して、集会をもったということは、関心をもつ者にとっては大きな機会となりました。

話の内容に目新しいものが少なかった。もう少し、裏の裏の話（バサーエフやベスラン占拠事件などについて）のドロドロした話を聞きたかった。

専門家の生の声を聞いて大変勉強になった。

林さんのお話が充実していたと思います。

チェチェンの人達の生の声を聞いて良かったと思います。

貴重な機会をありがとうございました。いかに大変な状況にあるかよく理解できました。また、チェチェンの人々をより身近に感じるためにも、彼らの文化、日常なども知ることが出来る機会があればいいと思います。

通訳の方が真中でないほうがいいような気がします。

林さんの本で、初めて、チェチェンの現状を知りました。これからもこの問題に関心を持ち続けるのと、何とかきっかけを作り、行動にも参加したいと思います。

とても中身の濃い話でした。高橋さんの話（訳）がとてもうまく聞けました。

勉強になりました。

質問に対するバビーツキイ氏の回答の中で、北カフカースの状況など、よくわからなかったことがいくつかあきらかになりました。ロシアの市民たちの意識の中でのチェチェン問題の位置など、それをどう動かすことができるのか、日本で何をすることができるのかなど、さまざまな宿題を投げかけられたと思います。

大変勉強になりました。

バビーツキ記者を招かれての集会を開くこと、いろいろ大変なことがあったことと思います。とてもよかったです。バビーツキさんのすぐれたジャーナリズム精神、生き方により敬意を表します。もっといろいろお話がききたかったのですが・・・。

こういう集会に出たのが初めてなので、比較はできないですが、真剣でいいんじゃないですか。もっと突っこんだ事実や、大まかにわかるチェチェンの話も聞きたかったりもしましたが、すでに知っている人も多いのでしょうか。

とても良かったです。運動に参加したいと思いました。

チェチェン問題の解決を巡って、日本政府に訴えることがどれ程の威力を発揮するだろうか。訴える対象をもっと広めたほうがいいのではないかな。

バビーツキーさんの話、質問に対するとりまとめ、チェチェン問題が現在どうなっており、解決のための現実的障害がマスコミ体制を中心とする世論工作など具体性をともなったかたちでまとめられた中からよくわかりました。ロシアの共産党をはじめとする野党勢力が反対をとなえているといわれていますが、どんなかたちで政治のかやの外におかれているのか、ロシア国内の反対勢力の動きはどうなっているのか、このことが解決のためのまずはカギになるのではないのでしょうか。ここらへんの話をもっと具体的におききできればと思いました。

チェチェンの状況改善のために、日本を含めた外側からの関心、ロシア政府への圧力が必要だというのはもともともですが、一方で、海外メディアからの批判や欧州人権裁判所での判決等があるにもかかわらず、なかなかロシア政府の態度を変えるのには到らないものなんだなとやや悲観的な気持ちがしました。

この視点が今までなかったと思います。その点では Good。ただ、この人の思想の根底にあるものがビミョーに引っかかります。宗教的な解釈によって、事実のある面がケムリに巻かれてしまっているような・・・（考えすぎですかね）。キリスト教(?)のある面というか宗派というか、その広報活動のように思えて→大変失礼致しました！！

とても参考になりました。自分はまだ基礎的な理解が浅いので、全体像をつかみきれていないのですが、今後、さらに理解を深めて、チェチェン問題とロシア政府に注目していきたいと思います。

以上